

西条市の学校規模適正化に関するアンケート調査へのご協力をお願い
 (中学校 教員用(校長先生、教頭先生も含みます))
 ~みなさまのご意見をお聞かせください~

西条市では、令和2年度に実施した「西条市の教育に関するアンケート調査」において、将来的な子どもたちの教育環境の充実を図るためには、一定程度の児童数・学級数が必要であるとの回答が多い傾向がみられ、西条市総合教育会議において、人口減少・少子高齢化社会の進展を見据えた今後の教育環境のあり方について議論を進めてきました。

そこで、西条市の次代を担う子どもたちの将来的な学校教育環境の最適化を図ることを目的に、学校規模適正化に関するアンケート調査を実施することとしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年〇月 西条市長 玉井 敏久 西条市教育長 伊藤 隆志

調査の概要

- この調査用紙は、西条市立の中学校に勤務されている教員の方を対象(事務員除く)に配布しています。
- この調査票は、個人を特定できないようになっており、調査終了後は速やかに廃棄いたします。
日ごろ、感じていることや思っていることをそのままご記入ください。
- 必ずご本人がご回答ください。
- ご記入後、「調査票」を返信用の封筒に入れて、〇月〇日(〇曜日)までに各学校で集約していただき、以下の担当までご返送ください。
- ご不明な点などがありましたら、下記の担当へお問い合わせください。

※本アンケートにつきましては、西条市の学校規模適正化検討の基礎資料として活用させていただきます。

令和2年度

「西条市の教育に関するアンケート調査」の結果は

こちらから



〒793-8601

西条市明屋敷164番地

西条市 経営戦略部 政策企画課

TEL : (0897) 56-5151 (内線2179)

E-mail : seisakukikaku@saijo-city.jp

西条市 教育委員会事務局 教育総務課

TEL : (0897) 56-5151 (内線5222)

E-mail : kyoikusomu@saijo-city.jp

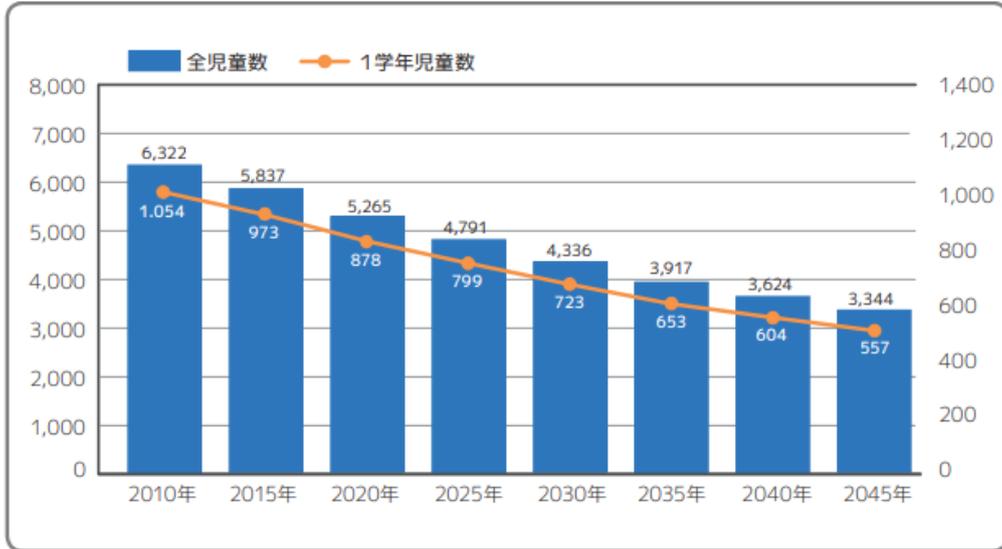
アンケート回答の参考に、ご一読ください。

西条市立小・中学校の児童・生徒数の推計について（第2期 西条市総合計画後基本計画（第2期西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略）より抜粋）

(1) 小学校児童数の推計

西条市の小学校児童数は減少し続け、2010年時点で1学年あたり1,000人を超えていた児童数が2045年時点で557人と約半分まで減少します。

図1 西条市の全小学校児童数（7～12歳）及び1学年児童数の推移
（単位：人）

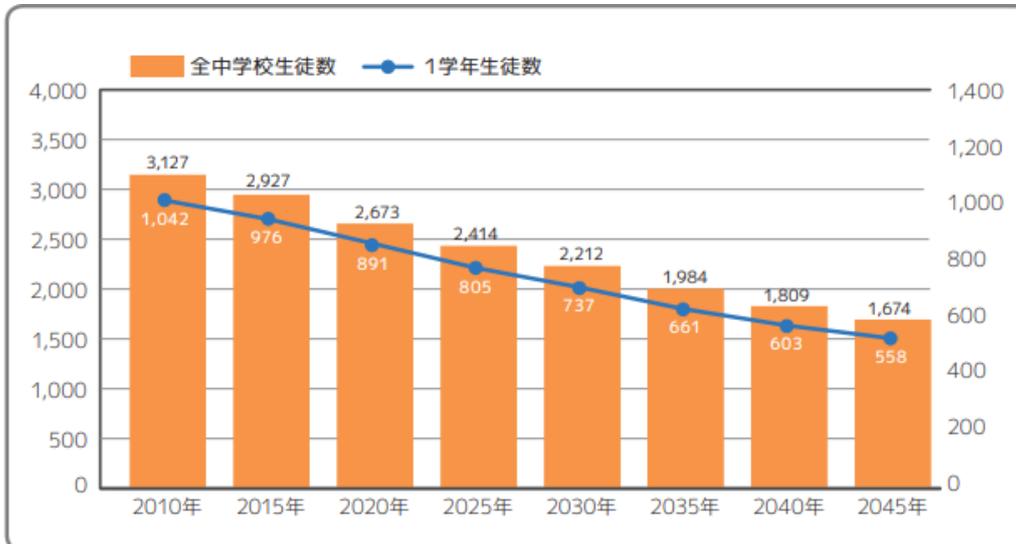


出典：2010年及び2015年国勢調査を参考に西条市自治政策研究所が作成

(2) 中学校生徒数の推計

西条市の中学校生徒数は減少し続け、2010年時点で1学年あたり1,000人を超えていた生徒数が、2045年時点で558人と小学校児童数と同様に約半分まで減少します。

図2 西条市の全中学校生徒数（13～15歳）及び1学年生徒数の推移
（単位：人）



出典：2010年及び2015年国勢調査を参考に西条市自治政策研究所が作成

小学校においては、児童数 60 人（1 学年あたり 10 人）を基準とした場合、基準を下回る学校が 2045 年には 10 校まで増加します。また、中学校においては、生徒数 60 人（1 学年あたり 20 人）を基準とした場合、基準を下回る学校は 1 校のみですが、2045 年までに全小・中学校で児童・生徒数が減少します。

表1 西条市の小学校区別児童数および中学校区別生徒数の変化 (単位:人)

区分	学校名	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	増減 2045年-2010年
小 学 校	玉津	536	514	509	502	504	499	485	486	△50
	飯岡	304	343	326	283	226	184	197	206	△98
	西条	602	527	413	409	448	461	429	355	△247
	神拝	935	823	653	538	503	505	474	388	△547
	大町	575	575	557	500	454	391	366	369	△206
	神戸	206	192	188	176	150	131	115	116	△90
	禎瑞	71	80	86	78	55	40	41	46	△25
	橘	111	108	101	83	67	56	51	50	△61
	氷見	217	181	156	134	102	78	67	60	△157
	周布	194	179	159	143	128	104	88	77	△117
	吉井	111	111	131	154	119	89	89	101	△10
	多賀	314	287	248	223	194	174	156	137	△177
	壬生川	309	284	260	246	226	201	175	155	△154
	国安	218	191	187	163	151	142	128	123	△95
	吉岡	147	128	131	141	130	106	92	87	△60
	楠河	129	105	97	88	70	61	55	47	△82
	三芳	137	113	86	74	68	67	61	42	△95
	庄内	102	92	84	64	44	30	25	23	△79
	丹原	323	281	254	239	233	230	206	181	△142
	徳田	72	64	61	70	59	38	29	28	△44
田野	122	101	77	68	61	53	44	35	△87	
中川	124	116	85	63	46	32	29	25	△99	
田滝	7	11	11	5	4	1	1	2	△5	
小松	345	340	306	266	235	197	187	175	△170	
石根	111	91	98	82	61	47	34	29	△82	
中 学 校	西条東	410	410	414	399	376	347	329	331	△79
	西条西	204	188	173	160	135	100	81	76	△128
	西条南	400	356	358	337	307	273	236	224	△176
	西条北	698	686	573	457	420	426	433	392	△306
	東予東	450	434	393	376	358	303	263	235	△215
	東予西	199	171	160	155	148	136	120	106	△93
	河北	200	165	138	120	99	80	72	63	△137
	丹原東	263	245	207	187	179	165	149	128	△135
	丹原西	59	59	50	36	28	19	14	13	△46
	小松	244	213	206	187	162	136	113	105	△139

◆ 次のページからアンケート調査の設問になります ◆

↓ここからが設問になります。↓

問4 あなたが、これまで法令で定める標準を下回る学級数（1校あたり11学級以下）の学校で勤務した経験の有無を選んでください。

① あり	② なし
------	------

問5 西条市内の今の中学校数や学校規模についてお聞きします。

①～②の項目について、あなたの考え方に近い選択肢を選んでください。

項目		選 択 肢				
		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
(記入例) ○○○について○○○と感じる		5	4	3	2	1
ここから下が設問です						
① 小さい規模の中学校が多いと感じる		5	4	3	2	1
② 20年前に比べると子どもの数が少なくなったと感じる		5	4	3	2	1
③ その他 ()						

問6 小規模校（1校あたり11学級以下の中学校）の良さについて、あてはまるものを順番に選択してください。

※第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記入してください。

- ① 子どもたちの人間関係が深まりやすい
- ② 子ども一人ひとりの活躍の機会が増える
- ③ 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい
- ④ 学年を超えた教育・交流活動の機会が多くなりやすい
- ⑤ 機器など授業で使用する教具が一人ひとりに行き渡りやすい
- ⑥ 学校・地域・保護者が一体となった活動がしやすい
- ⑦ その他 ()

第一選択欄
第二選択欄

問 13 **問 11 で②または③を選択した方にお聞きします。** 問 11 で②または③を選択した理由として、あてはまるものを順番に選択してください。

※第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記入してください。

- ① 複式学級の解消やクラス替えができるから
- ② 多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから
- ③ 適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから
- ④ 進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから
- ⑤ 学校再編により教育予算が効率的に活用できるから
- ⑥ その他 ()

第一選択欄
第二選択欄

またここからの設問は、すべての方におたずねします

問 14 学校再編を進めるには、どのような点に配慮すべきだと思いますか。あてはまるものを順番に選択してください。

※第二選択欄は該当する回答がある場合のみ記入してください。

- ① 子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全確保
- ② 子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減（ケア）
- ③ 9年間を見通した小中一貫教育の実施
- ④ 再編する学校の子どもたち同士の事前交流
- ⑤ 保育所や幼稚園、学童保育など子育て機能を有する施設を学校と一体的に整備
- ⑥ 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策
- ⑦ 避難所機能の充実
- ⑧ 学校を地域の拠点とし、その周辺に公共施設や生活に必要なサービス機能の充実
- ⑨ 保護者・地域団体・地域住民との十分な協議
- ⑩ その他 ()

第一選択欄
第二選択欄

問 15 中学生の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

※選択した番号を1つ選択欄に記入してください。

- ① 15分未満
- ② 15分以上 30分未満
- ③ 30分以上 45分未満
- ④ 45分以上 60分未満
- ⑤ 60分以上

選択欄

